平成23年度個別施策ヒアリング資料（優先度判定）【文部科学省】

施策番号	24013	施策名		理数学生育成プログラム			
新規／継続	新規	領域	人財強化	国際的位置付け	―	AP施策	―
競争的資金	―	e-Rad	―	社会還元	―		
施策の目的及び概要	理数分野に関して強い意欲ある学生の能力や研究意欲をさらに高めることを目指し、大学学部段階における理数系人材育成に特化した取組を支援（理数学生育成支援事業：理数に優れた能力、意欲を持つ学生に対し、特別の体系的なカリキュラム・セミナー・早期研究室配属の機会を提供する取組を支援するもの）するとともに、全国の理系学部生が研究成果を発表し競い合う場（サイエンス・インカレ）を構築する。						
達成目標及び達成期限	学部学生の研究発表数の増（理数学生育成支援事業での支援対象コース等における学部学生の学会等発表数増、サイエンス・インカレへの参加学生数増）を目指す。						
研究開発目標及び達成期限	―						
23年度の研究開発目標	サイエンス・インカレについては、1000人の参加を目指す。 理数学生育成支援事業については、5大学の採択を目指す。						
施策の重要性	成長の原動力である若手研究人材を育成していくためには、意欲のある者に対して大学学部段階からその能力・研究意欲をさらに高めるための機会が提供されることが必要であるが、従来我が国においてはこのような機会は不十分であったため、本事業を新規に実施するものである。 なお、新成長戦略工程表において、2011年度に実施すべき事項として「サイエンス・インカレ」の創設が明記されており、「科学技術基本政策策定の基本方針」（平成22年6月16日基本政策専門調査会）においても、「子どもの科学・技術に対する関心を高め、チャレンジへの意欲を喚起するような、身近で目に見える機会（「科学甲子園」、「科学インカレ」、「ものづくりコンテスト」）を充実する」や、「次代を担う人財育成の充実に向けた大学の取組も期待」などの記載がある。						
実施体制	「理数学生育成支援事業」の支援大学及び「サイエンス・インカレ」の運営等の業務を委託する機関については公募により決定する。「理数学生育成支援事業」については、事業が支援の趣旨に添って適切に行われるよう中間・事後評価を実施する。						
H22予算額（百万円）				H23概算要求額（百万円）			
―				185			
独立行政法人名（運営費交付金施策のみ）				―			
H23概算要求額の内訳	― [理数学生育成支援事業] ・補助金:80（5大学×16） ・事務経費：3 [サイエンス・インカレ開催事業] ・委託費:96(1機関) ・事務経費：7						
期間	H23～			資金投入規模（億円）			―
これまでの成果（継続のみ）	―						
社会情勢・							

技術の変化（継続のみ）	—		
昨年度優先度判定（継続のみ）	—	優先度判定時の指摘への対応（継続のみ）	—
国民との科学・技術対話推進への対応（対象施策のみ）	—		